

八王子消化器病院ニュース

第66号

医療法人財団 中山会

八王子消化器病院

— 患者様のための医療 —

日本医療機能評価機構認定病院

〒192-0903 東京都八王子市万町 177-3

TEL: 042-626-5111

www.八王子消化器病院.com

制作 (株)教育広報社

おおり

HACHIOJI DIGESTIVE DISEASE HOSPITAL NEWS



人の行動変化

八王子消化器病院 病院長

小池 伸定

2020年春、オリンピックイヤーとなる

この年を、このような状況で迎えるとは誰が想像できたでしょうか。本年1月に発生した新型コロナウイルス肺炎(COVID-19)は、世界中に拡がりWHO(世界保健機関)からパンデミック(感染症の世界的な大流行)が宣言されました。そして、世界の感染状況を踏まえたIOCの発表を受け、日本政府も東京オリンピック・パラリンピックの1年延期を決定しました。出場する選手の気持ちを考えている間も世界中に感染が拡散し、感染者・死亡者が増えています。今後の状況については予測が難しいですが、ただ速やかな収束を願うばかりです。

感染拡大は、私達一人ひとりに不安を与え、心の中まで浸食しているようです。買い占めにより、トイレトペーパーが店頭から消えてしまいました。私達は、自分の情報と先に動いた人の情報をもとにして行動しており、情報の流れが起きると群れを成したい心理が働きます。これをハーディング現象(群衆心理)と云います。羊の群れが岐路に立った時、先頭の羊の後に付いていくあの姿です(想像すると悲しいですが)。このように、私達の心の働きから行動を分析する経済学の一分野に行動経済学があります。皆様も経験があるかもしれませんが、無料の試供品を提供されると、その後にその商品を購入してしまう行動は、心の慣性の法則と呼ばれます。つい買ってしまうの

は、意志が弱いからではありません。

医療行動における経済学の研究も進んでおり、いくつかの事例を紹介いたします。その一例として、がん検診についてです。国のがん対策推進基本計画では検診受診率50%を目標としています。大腸がんの便潜血反応検査は現状では41%に留まっています。がん検診は、市町村単位で運営されていますが、便潜血反応検査を毎年受けてもらうために、受診勧奨はがきをA・Bの2種類の文言で送付した八王子市のユニークな取り組みが広く紹介されています。

A…本年度に受診すれば、来年度も便検査キットを送付します。

B…本年度に受診しなければ、来年度は便潜血キットが送付されません。

よく読んでみるとA・B共に同じ意味ですが、検証するとAよりもBのはがきによる受診率が高い結果となりました。本年度に受診しないと、本来受けられる行政サービスを受けられなくなるという損失が確定します。これを損失フレーミングと云いはがきを受け取った市民の行動変化を導いています。フレームとは縁縁のことで、与えられた情報をどのようなフレームで切り取るかにより、行動が変わります。例えば、手術の説明を「A…術後の生存率は90%です」「B…術後の死亡率は10%です」と説明された場合、Bの説明では、治療を避けるようになります。

紹介します。ノーベル経済学賞を受賞したリチャード・セイラーは「ナッジとは選択肢を制限せずに、人々の行動を予測可能なものに導いていくこと」と定義しています。言葉では難しいですが、日常生活の中での活用事例として、例えば運動不足解消のため、段数や絵を示すことで自然と階段を昇るように導いたり、肥満対策として、カフェテリアの会計時の目線に果物を置き、買ってもらいように誘導します。この心理をもとに、インフルエンザワクチンの接種を促す実験が米国で行われました。①接種日を知らせる案内 ②接種日に選んだ日付を書く欄を設けた案内 ③選んだ日付と時間を書く欄を設けた案内をそれぞれ送ったところ、接種率が最も高かったのは③の案内でした。これは対象者の能動的に参加する意識を高めた結果です。僅かなレイアウトの違いで、行動様式が変わる人間の心理は難しいものです。

100年に1度とも云われる今回の感染症の影響により、各種イベントの自粛、学校の休校、外出制限等、私達の行動様式が変化を余儀なくされています。当院でも、朝礼・会議の中止や職員休憩室の使用禁止を断行しました。その結果、日常の習慣行動がなくなったことで、会議や会合の一つひとつが本来に必要なものかどうかを考える機会となりました。そして、この感染症を克服した先には、以前と同じ生活に戻るのではなく、また経験を単なる経験とすることなく、そこから得られたものを今後のプラスにしていこうと肝に銘じています。

(参考文献)

「行動経済学見るだけノート」

真壁 昭夫 宝島社

「医療現場の行動経済学 すれ違う医者と患者」

大竹 文雄・平井 啓 東洋経済新報社

もっと知りたい!

身体

治療

病気

のコト

当院の院内感染予防対策について

看護部長 感染管理認定看護師 岡田 正文

2020年1月6日付で厚生労働省から報道関係者に対し「中華人民共和国湖北省武漢市における原因不明肺炎の発生について」が発表されました。これは新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と命名され、同16日には日本国内でも感染者が発生し、社会的な関心が高まりました。その後は、政府チャーター機による武漢市在住邦人の受け入れ、横浜港に寄港したクルーズ船内の隔離対策等が新聞、テレビ、インターネット等を通じて連日報道され、日増しに拡がる感染に国民は動揺を隠せません。そして、対策も空しく感染拡大は水際で止められず、政府はイベントの延期・中止や小中高等学校の全国一斉休校等を要請しました。この対策が効果的であったかは、現時点では不明ですが、生活面や経済面での影響は甚大で、多くの国民が困惑しています。

3月25日現在、東京都では感染者数が国内最多となり各種イベントの自粛、更には都市封鎖が囁かれる一方、感染が確認されていない地域では自粛を解除してもよいとされており、全般的には持ち堪えている状況です。

今回の新型コロナウイルス感染症の一連の報道では、手洗い、アルコール消毒、

マスク、咳エチケット、飛沫・接触感染、濃厚接触等のキーワードをよく耳にしますが、これらは感染対策の基本であり、当院においても院内感染予防対策の重要な事項として以前から取り組んでいます。本稿では、その取り組みの一部をご紹介します。

《手指衛生・個人防護具の着用》

◎手指衛生(手洗い・擦式アルコール手指消毒)は感染対策上、最も基本的でかつ重要な対策です。ハンドソープによる手洗いは不十分になりやすいため、衛生学的な手洗いポスターの掲示や特殊塗料を用いた手洗い指導を定期的の実施しています。擦式アルコール消毒薬はワンタッチ量が多く、擦り込みやすい泡状タイプを採用しています。また、消毒薬の積極的使用のために毎月、各部署毎の使用量を計測しています。更に、手指衛生は必要な場面で行うことが重要なため、WHO(世界保健機関)のガイドラインで推奨されている「手指衛生の5つのタイミング」を掲示し、医師・看護職員等に周知しています。

◎個人防護具(手袋・マスク・ガウン・

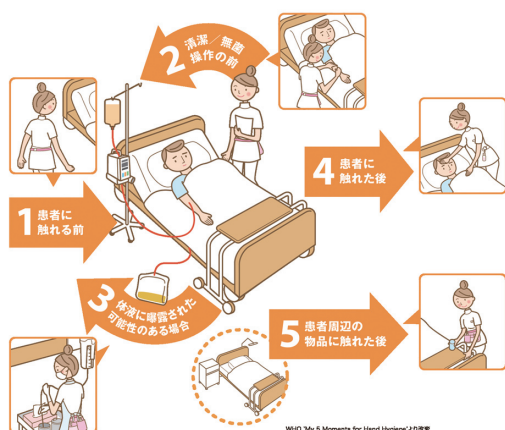
アイシールド)は、医療者を病原性物質の汚染から防ぐことにより、患者様への媒介・伝播(二次感染)を予防する必需品で、手指衛生同様重要です。また、個人防護具は着脱方法が最も重要であるため、各部署にて実践指導を行っています。

《感染対策チーム(ICT)活動》

当院では感染予防対策を現場で実践する感染対策チーム(ICT・インフェクションコントロールチーム)を設置しています。チームは、①感染症対策に3年以上の経験をもつ専任の医師②感染管理に5年以上従事した経験をもつ専任の看護師③3年以上感染対策に関わる専任の薬剤師・臨床検査技師を中心に、全ての部署の代表職員から構成されています。チームの活動として、①病原微生物の検出状況・院内感染事例の把握、感染防止対策実施状況の把握・指導等を行う院内巡回②全職員を対象とした研修の企画・運営③最新のエビデンスに基づいた院内感染に関するマニュアルの作成・改訂④感染防止対策連携施設との合同カンファレンスの開催等が挙げられます。

特に、院内巡回は院内感染管理者(医師)を中心に複数のメンバーで実施し、院内の環境や感染対策の実施状況を確認しています。巡回の結果についてはICT会議で評価し、上部組織である院内感染予防対策委員会にて検討したうえで、各部署にフィードバックし全職員が適切に感染対策を実施できるように指導しています。

手指衛生の5つのタイミング



今回は、当院の院内感染予防対策の一部をご紹介しましたが、感染対策の基本は手指衛生を初めとする標準予防策であり、院内感染の発生を未然に防ぐには、その原因となる病原体を把握し、感染経路をいち早く遮断し、易感染者を感染から守ることが重要です。今後も感染制御に関連する様々なリスクに対応した組織活動を通じて、患者様方に安全・安心な医療・療養環境を提供できるよう努めて参ります。

東京オリンピック・パラリンピックが1年延期となり国民の皆が落胆していますが、一人ひとりが感染予防対策を適切に行い、新型コロナウイルス感染症が1日も早く収束して普段の活気ある生活に戻れることを願うばかりです。

私の令和は

病気に始まった

八王子市 在住

小川 文雄 さん



66

令和元年の五月、強い腹痛に耐えられなかった私は八王子市内の病院に救急車で搬送され、そのまま緊急入院となつてしまいました。診断の結果は、急性膵炎でした。絶食と点滴治療の効果もあり、2週間も経つと痛みも大分とれてきたので、そろそろ退院出来るのだろうなと思いついていました。しかし、その思いとは裏腹に当時の主治医から「当院ではこれ以上の治療は出来ないで転院先を探してください」と突然の退院勧告をされたのです。私は元氣になつて元の生活に戻れるとばかり思っていたので大変に混乱しました。その時の精神状態は、まるで悪夢でも見ているかのようでした。

王子消化器病院の顧問をされている久野さんと知り合いだったため、すぐに今泉先生の診察の手配をしていただきました。病院を探すにあたって病氣のことを色々調べた結果、膵臓病の手術は専門的な高いスキルが必要であることや、その専門医が非常に少ないことがわかりました。住まいの近くに膵臓病の名医のいる病院があったことは、本当にラッキーでした。

泉先生にお任せすれば大丈夫だと直感しました。六月二四日に入院し、手術に向けての検査が始まりました。検査の結果、私の膵臓は奇形で元々小さいらしく、また大きな膵石もあり膵臓に負担をかけ過ぎてきたせいではないかとの説明を受けました。膵臓が石灰化する原因の大半は飲酒によるものだそうです。しかし、お酒も飲まない私が何故に発症したのかと考えると、好き嫌いが激しく偏食ばかりで外食することも多かった長年の不摂生な食生活を続けてきたことが影響していたのかも知れません。治すには石灰化している膵臓の半分を切除するより他ないとの説明を受けました。正直なところ手術は怖くてたまりませんでした。が、治す方法は他にないので今泉先生を信じて手術を受けることを決めました。

ところが手術日が近づいても膵臓の炎症が治まらず手術は延期され、一旦退院することになりました。治つてもいけないのに一瞬でも手術から逃れられたことに、実は内心ほっとしました。そして九月一八日に再々入院し、九月二四日に手術が決まりました。手術が無事に成功し、私が麻酔から覚めた頃に今泉先生が回復室に来られ、とても優しい表情で「痛い？手術でお腹をいろいろといじっているから、頑張つてね！」と声をかけてくださいました。手術した患者にとつて麻酔から覚めた時に主治医の先生がいてくださることは、どれだけ心強く励まされたか、計り知れない程の大きな嬉しさがあるものです。

手術後すぐに体を動かすことが大事で早期の回復につながるのとの説明はありましたが、まさか手術翌日にまだ猛烈な痛みがあるのに回復室から自分の病室まで「歩いて帰りましょうね」と言つた看護師さんは、正直なところ鬼のように思えました。その後も痛みを堪えながら病棟の廊下を歩いたり、起きて体を動かしたり、その時出来ることをしました。早く治したい一心でついついやり過ぎてしまうので、今泉先生から「何事もやり過ぎは駄目だよ」とたしなめられることがありますが、リハビリを頑張つたお蔭で順調に回復していききました。「この痛みを乗り越えれば必ず良くなりますよ」という看護師さんの言葉どおり本当にお腹の張りも痛みも一日と和らいでいきました。副院長の齋田先生が回診に来られ「どうかなあ？」と声を掛けてくださるのですが、その言葉は不思議と不安な気持ちを癒してくれる魔法の言葉のようで、私はそれを「齋田マジック」と呼んでいました。



今泉先生も日本人の食生活が欧米化してきているために、膵臓病患者は今後ますます増加していくとおっしゃっていますが、正に私もその一人になってしまいました。この病氣になつて食べたい物を食べられるという当たり前のことが、どれだけ幸せなことであつたのだということをお伝えしました。

八王子市内の病院に今泉先生がいてくださり、手術していただけたことで今では仕事も出来るまで元氣になりました。ここまで治していただいた八王子消化器病院のスタッフの皆様には大変感謝しております。ありがとうございます。

東京都の主な医療機関の消化器がん治療実績 読売新聞社「病院の実力2020 総合編」2020年2月27日号 掲載

◆胃がん

病院名	住 所	病床数	手術件数	内視鏡的治療(ESD)
がん研有明病院	江東区	686	433	494
国立がん研究センター中央病院	中央区	578	364	408
順天堂大学順天堂医院	文京区	1,051	167	229
虎の門病院	港区	819	116	298
都立駒込病院	文京区	815	116	174
東京大学病院	文京区	1,226	113	172
都立墨東病院	墨田区	765	100	116
東京慈恵会医科大学病院	港区	1,075	88	119
杏林大学病院	三鷹市	1,153	85	75
昭和大学病院	品川区	815	84	11
NTT 東日本関東病院	品川区	594	81	320
慶応義塾大学病院	新宿区	960	79	96
東海大学八王子病院	八王子市	500	79	63
日本医科大学病院	文京区	877	78	134
東京医科大学病院	新宿区	904	75	106
東京医科歯科大学病院	文京区	753	71	94
武蔵野赤十字病院	武蔵野市	611	71	58
公立昭和病院	小平市	485	71	107
東京医科大学八王子医療センター	八王子市	610	68	88
東邦大学医療センター大森病院	大田区	934	64	72
東京女子医科大学病院	新宿区	1,316	63	70
八王子消化器病院	八王子市	98	60	38
慈恵医科大学第三病院	狛江市	581	55	82
国立国際医療研究センター病院	新宿区	749	53	78
帝京大学病院	板橋区	1,078	53	44
昭和大学江東豊洲病院	江東区	400	51	45
江戸川病院	江戸川区	418	51	9
慈恵医科大学葛飾医療センター	葛飾区	369	50	75

◆大腸がん

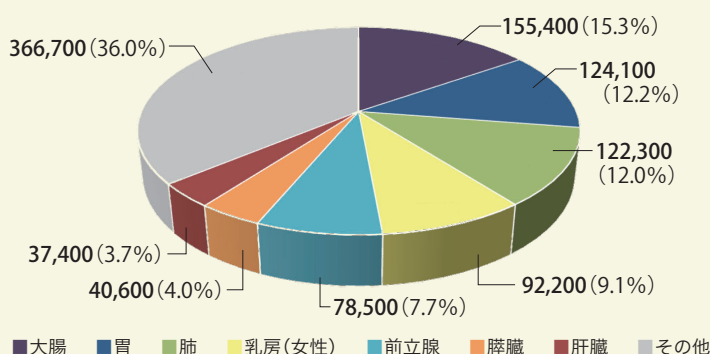
* 2018年1月～12月実績
ESD＝内視鏡的粘膜下層剥離術

病院名	住 所	病床数	手術件数	内視鏡的治療(ESD)
がん研有明病院	江東区	686	767	299
国立がん研究センター中央病院	中央区	578	454	224
虎の門病院	港区	819	414	98
都立駒込病院	文京区	815	403	196
日本医科大学病院	文京区	877	297	78
東京医科大学病院	新宿区	904	251	49
東京大学病院	文京区	1,226	228	181
順天堂大学順天堂医院	文京区	1,051	219	269
NTT 東日本関東病院	品川区	594	214	385
武蔵野赤十字病院	武蔵野市	611	210	20
帝京大学病院	板橋区	1,078	208	48
荻窪病院	杉並区	252	200	53
杏林大学病院	三鷹市	1,153	172	30
慈恵医科大学第三病院	狛江市	581	171	14
公立昭和病院	小平市	485	166	29
東邦大学医療センター大森病院	大田区	934	157	143
東京女子医科大学病院	新宿区	1,316	155	20
昭和大学病院	品川区	815	155	78
東京慈恵会医科大学病院	港区	1,075	151	102
東京医科歯科大学病院	文京区	753	149	108
町田市民病院	町田市	447	148	65
東京医科大学八王子医療センター	八王子市	610	137	—
東海大学八王子病院	八王子市	500	137	11
慈恵医科大学葛飾医療センター	葛飾区	369	134	62
練馬光が丘病院	練馬区	342	133	36
都立墨東病院	墨田区	765	133	57
八王子消化器病院	八王子市	98	133	26
昭和大学江東豊洲病院	江東区	400	131	—

◆肝臓がん

病院名	住 所	病床数	手術件数
虎の門病院	港区	819	102
東京女子医科大学病院	新宿区	1,316	66
東京大学病院	文京区	1,226	47
東京医科歯科大学病院	文京区	753	39
がん研有明病院	江東区	686	35
国立がん研究センター中央病院	中央区	578	29
帝京大学病院	板橋区	1,078	26
東京慈恵会医科大学病院	港区	1,075	25
杏林大学病院	三鷹市	1,153	24
武蔵野赤十字病院	武蔵野市	611	21
日本医科大学病院	文京区	877	20
青梅市立総合病院	青梅市	529	19
順天堂大学順天堂医院	文京区	1,051	19
昭和大学病院	品川区	815	16
慈恵医科大学葛飾医療センター	葛飾区	369	16
八王子消化器病院	八王子市	98	16
都立墨東病院	墨田区	765	13
公立昭和病院	小平市	485	13
三井記念病院	千代田区	482	12
慶応義塾大学病院	新宿区	960	10
東京女子医科大学東医療センター	荒川区	450	10
日本医科大学多摩永山病院	多摩市	401	9
東京医科大学病院	新宿区	904	9
東海大学八王子病院	八王子市	500	9
昭和大学江東豊洲病院	江東区	400	9
豊島病院	板橋区	438	8
練馬光が丘病院	練馬区	342	8
明理会中央総合病院	北区	311	8

がん罹患数予測(2019年)



※「2019年のがん統計予測」国立がん研究センターがん情報サービス

読売新聞社「病院の実力2020 総合編」に掲載された、治療実績の全国集計結果の中から当院の専門領域である消化器がんについて、都内の医療機関を抜粋し転載しました。

今回、著名な大学・大病院に伍して当院がランクインされたのも、地域の患者様や医療機関からの信頼・評価の賜物と感謝いたします。

「2019年のがん統計予測」による全がん罹患数(1,017,200人)中の約4割を占める消化器がんのうち胃・大腸・肝臓がん領域において、上記の実績を上げることで地域医療に少なからず貢献できたのではと考えております。

また、当院では腹腔鏡下手術や内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)等の患者様にとって負担の少ない低侵襲治療についても積極的に行っております。

今回の掲載項目にはありませんでしたが、当脾臓病センターでは高度な治療技術を要する脾臓・胆道の手術についても年間40余件を行い、消化器がん領域全般に亘り安全・安心な医療を提供しております。

想うこと

恐ろしや 昔コロリで 今コロナ



10億分の1m程のコロナウィルスに直径12,742kmの地球が席捲され、世界が感染の大混乱に陥っています。各国が躍起になってその対応に追われる中、日本の対応については例のクルーズ船から始まり、検査をしないから云々のパッシングを受けています。一方、辛口で鳴るフランス

のメディア「ル・ポワン」が欧米に比べ感染者数が少ない日本の奇跡的な状況について、日本人特有の衛生観念・隣人への配慮・公共の利益を優先する規律ある国民性・民度の高さによるものと称賛していました。厳しい状況ですが、国民の力でこれを乗り切り、何時の日か世界中が「日本に学べ」の時が来ることを切望してやみません。

理事 久野久夫